

[132]語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/6617885>

出版情報：語文研究. 132, 2021-12-17. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

学会彙報

▼令和三年度 九州大学国語国文学会

二〇二二年六月六日(日) オンラインで開催

〔研究発表〕

松尾芭蕉と老荘思想——「誠」の理念を中心に——

陳 笑 薇

和漢朗詠集の整備と流通

村 上 義 明

『堤中納言物語』の注釈と推測批判

岡 田 貴 憲

時間名詞「今般」について

金 香 梅

形容詞の語形成史——中世・近世を中心に——

村 山 実 和 子

〔講演〕

「つれづれ」の転変——徒然草・序段解釈史——

川 平 敏 文

▼第七十一回 西日本国語国文学会

二〇二二年九月四日(土) オンラインで開催

〔研究発表〕

市河寛齋の陸詩注釈書考——近世後期詩壇における陸詩受容

史一斑——

王 自 強

『御津の浜松』吉野の姫君における女三の宮の影響

千葉 直 人

中世王朝物語における親王官の位置付け——『石清水物語』の

中務宮をめぐる——

宮 崎 裕 子

洞門抄物と副詞タシカ

古 田 龍 啓

(九州大学関係者のみ)

▼令和三年度(前期) 学位論文題目

学 部

『南総里見八犬伝』における薬用食人の趣向 古 賀 晴 菜

博 士

王朝物語史序説

坂 本 信 道

▼受贈図書(二〇二二年三月～二〇二二年九月)

江戸は封建制だったのか——無私と個性と—— シンポジウム

報告書

宮 崎 修 多

九大日文 第35、36、37号(九州大学日本語学会)

九州大学大学院比較社会文化研究院

東アジアにおける知の往還(国文学研究資料館・高麗大学校

グローバル日本研究院共編)

国文学研究資料館

雅俗二十号

雅俗の会

▼令和四年度九州大学国語国文学会

総会並びに研究発表会のお知らせ

令和四年度九州大学国語国文学会を、令和四（二〇二二）年六月五日（日）に開催いたします。現在のところ、九州大学伊都キャンパスでの開催を予定しています。多数ご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

研究発表をご希望の方は、発表題目を令和四年三月三十一日までに九州大学国語国文学会までお申し出下さい。

研究発表題目、および開催方法などの詳細につきましては、令和四年四月下旬にあらためてお知らせいたします。